

事務事業評価(事前評価)シート【令和元年度】

主管課(担当名)	消防本部警防課企画防災担当	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	救急救命士養成事業	事業番号	10912

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-1	消防・救急体制の充実
	施策目標	安全・安心に暮らせる都市基盤の充実したまち	

2 事務事業の目的

目的	救急現場では、専門的な救急医療の知識・技術が必要であるため、計画的に救急救命士を養成して増員配置することにより、市民に安心・安全を提供する。
成果	救急出場時の救急救命士乗車率を向上させることにより、常に高度な救命処置(特定行為)が可能となり、救命率の向上が図られる。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	29							
	30							
	31	救急救命士1名養成						
	32	救急救命士1名養成						
	33	救急救命士1名養成						
事業費と内訳	(単位:千円)	H29	H30	H31	H32	H33	総事業費	
	事業費			2,696	2,696	2,696	8,088	
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他			2,696	2,696	2,696	8,088
		一般財源						
	人員(人工)			0.08	0.08	0.08	0.24	
職員費(人員×7,693千円)			615	615	615	1,845		
総事業費			3,311	3,311	3,311	9,933		
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
	合計/年							

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H30)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	救急救命士乗車率	98%	99%	100%

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	救急救命士の勤務形態及びメディカルコントロール体制構築のため、病院実習を含め各種研修派遣しなければならず、救急救命士を要請し増員することで、常時救急救命士の乗車体制が確保され、救命率の向上が図られる。
-------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 市民の生命を保護し、安全・安心を確保することであるため。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 市が消防責任を有しているため。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 救急現場での高度な知識・技術を可能とする資格者を養成することは急務である。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 救急救命士の養成をするため、手段は適切である。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 市民の生命を守ることが目的のため、公平性は高い。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 市民の生命を守り、救命率の向上につながるため、事業の有効性は高い。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<input checked="" type="checkbox"/> 【計画どおり】 円滑に事業推進を図り、救急救命士の養成及び救命率の向上に努められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 計画どおり救急救命士を養成し、乗車率を向上させることにより、救命率の向上を図りたい。

作成年月

令和元年6月